

教育委員会

(予 算 額) (決 算 額)

総務課

I 事務局費

1	教育広報事業	17,037	16,927	教育委員会の広報活動を推進するため、県域テレビ・ラジオで教育番組を制作・放送するとともに、教育広報紙の発行を行った。
---	--------	--------	--------	--

II 教育連絡調整費

1	教育ネットワーク・ＩＣＴ環境整備事業	482,354	392,869 〔 翌年度繰越額 89,331 〕	県立学校のインターネット環境整備を行った。また、和歌山県学校教育ＩＣＴグランドデザインの策定を行った。
2	被災児童生徒就学支援事業	179	115	東日本大震災で被災し、経済的理由から就園・就学が困難となった幼児児童生徒に対し、市町村が行う就学等支援事業に要する経費を補助した。
3	ＩＣＴ活用教育推進プロジェクト事業	197,233	196,986	授業でのＩＣＴ活用による分かりやすい授業の実現とこどもたちの情報活用能力の育成を図るため、教員研修を２回実施した。また、教員用パソコンの維持管理を行った。
4	きのくにＩＣＴ教育事業	73,801	73,241	県内全ての公立学校においてプログラミング教育を実施した。また、プログラミングについての教員研修を実施するとともに、プログラミング教育支援員を小・中・高・特別支援学校に派遣した。
5	オンライン授業で学びの深化事業	11,031	10,761	学習用端末の利用を円滑に進めるため、授業目的公衆送信補償金制度を利用し、授業でのＩＣＴ活用を推進した。
6	わかやまスクールパワーアップ事業	10,040	9,168	県内の公立学校が独自に実施する児童生徒の主体的な取組や地域の実情に応じた取組に対し、支援した。(27団体)
7	公立学校情報機器整備基金事業	554,867	554,867	初等中等教育段階の公立学校における情報機器の整備のため、基金の積立を行った。

III 教育振興費（中学校費）

1	県立中学校一般運営費事業	42,110	41,843	県立中学校５校の管理運営を行った。
---	--------------	--------	--------	-------------------

IV 全日制高等学校管理費

1	全日制高等学校一般運営費事業	1,151,963	1,091,589	全日制高等学校29校、分校４校の管理運営を行った。
---	----------------	-----------	-----------	---------------------------

V 定時制高等学校管理費

1	定時制高等学校一般運営 費事業	68,078	64,858	定時制高等学校8校の管理運営を行った。
---	--------------------	--------	--------	---------------------

VI 教育振興費（高等学校費）

1	全日制高等学校遠距離通 学費等補助金事業	3,365	2,448	特別地域（山間・へき地）から通学する県立全日制高等学校生徒に対し、通学費等の一部を補助することにより修学の機会均等を図った。
---	-------------------------	-------	-------	--

〔補助対象者数及び補助金額〕

区 分	人 数	金 額
下宿	7	565
交通機関	36	1,755
単車・自転車	15	128
計	58	2,448

2	教育設備等整備事業	317,105	313,222	高等学校の産業教育設備、理科に係る設備の充実を図るため、実験・実習用備品の整備を行った。また、情報処理教育の充実を図るため、情報機器の設備更新等を行った。
---	-----------	---------	---------	---

VII 学校建設費

1	校舎等指定修繕事業	155,269	155,269	高等学校3校のトイレ及び屋上防水の改修工事を行った。 ・向陽高校 管理教室棟トイレ改修工事 ・箕島高校 普通教室棟トイレ改修工事 ・熊野高校 看護科棟屋上防水工事
2	大規模改造事業	308,033	240,251	高等学校1校において、築後20年以上の老朽建物の大規模改造工事を行った。 ・神島高校 教室棟 906㎡
3	諸施設整備事業	155,518	155,518	高等学校2校において、部室棟及び寄宿舎の改修工事を行った。 ・那賀高校 部室改修工事 ・田辺高校 寄宿舎浄化槽転換工事

（前年度繰越分）

1	諸施設整備事業	31,246	25,343	和歌山北高校西校舎において、自転車置場の新築工事を行った。
---	---------	--------	--------	-------------------------------

VIII 特別支援学校費				
1	特別支援学校一般運営費事業	920,505	877,522	特別支援学校10校の管理運営を行った。
(前年度繰越分)				
1	特別支援学校一般運営費事業	14,400	8,582	特別支援学校スクールバスに設置する安全装置を購入した。
IX 教育振興費（特別支援学校費）				
1	特別支援学校教育設備等整備事業	58,862	52,150	特別支援学校の教材の整備等を行った。
X 特別支援学校建設費				
1	南紀・はまゆう支援学校再編整備事業	3,001,914	2,969,445	南紀はまゆう支援学校の校舎の新築工事を行った。 ・校舎（知的棟外） 7,536㎡
(前年度繰越分)				
1	南紀・はまゆう支援学校再編整備事業	20,858	20,858	南紀はまゆう支援学校の校舎の新築工事を行った。 ・校舎（知的棟外） 7,536㎡
XI 美術館費				
1	展覧会開催事業	41,331	41,328	県立近代美術館において、国内外の作家の優れた美術品を鑑賞する機会を提供するための企画展を2回、美術館所蔵の美術品を広く公開する常設展（コレクション展・特集展示）を4回開催した。また、和歌山県人世界大会記念特別事業として、特別展「トランスボーダー 和歌山とアメリカをめぐる移民と美術展」を開催した。 ・年間入館者数 43,200人
2	紀南地方の美術館との合同展覧会事業	21,791	21,675	田辺市立美術館、熊野古道なかへち美術館（田辺市立美術館分館）と協力し特別展「原勝四郎展」を開催した。また、トークイベントやワークショップ等の事業を実施した。 ・会期：令和5年10月7日～12月3日 入場者数 6,683人
3	和歌山博物館施設デジタル化計画事業	6,200	5,142	県立近代美術館のデータベースに収蔵品の高精細画像を追加するとともに、県立博物館及び紀伊風土記の丘と共同で、県立博物館施設3館が収蔵する資料の横断検索ができるポータルサイトを改良・公開した。

XII 自然博物館費				
1	教育普及展示事業	8,559	8,559	自然博物館において、自然に関する知識を広く県民に普及させるため、特別展を1回、講演会を1回開催した。また、小・中学校や教育団体等を対象とした出前教室を22回（対象939人）、各種イベントを19回実施した。 ・年間入館者数 120,209人
XIII 文教施設災害復旧費				
1	県立学校校舎等災害復旧事業	13,462	13,461	令和5年台風第2号による大雨で被災した県立学校3校の復旧工事を行った。 ・海南高校 浸水により損傷した床、壁及び空調設備の修繕等 敷地内に流入した土砂等の撤去及び廃棄物の処理 ・箕島高校 相撲場に流入した土砂の撤去及び土俵の修繕等 ・紀北農芸高校 民地に流出した土砂の撤去及び大型土嚢の設置
教職員課				
I 教育連絡調整費				
1	これからの和歌山の教育をつくる教職員の育成事業	2,348	1,825	将来管理職になっていく中堅教員を対象に、学校を管理運営する資質能力を育成するミドルリーダー育成研修、マネジメント力向上研修を開催するとともに、公立学校運営基礎資格試験を実施した。
人権教育推進課				
I 教育連絡調整費				
1	人権教育推進事業	3,076	2,450	同和問題をはじめとした様々な人権問題の解決を目指し、学校における人権教育の推進を図るため、教職員の研修、学校訪問及び指導者用資料の作成を行った。
II 社会教育総務費				
1	人権教育総合推進事業	12,603	9,061	人権問題に対する理解と認識を深め、差別意識の解消を図るため、人権問題に関する教育・啓発事業補助、保護者学級開設事業補助・委託、識字教育推進事業、人権教育指導者研修講座、人権教育地方別研修会、指導者用資料及び学習教材等の作成を行った。
2	学びのセーフティネット事業	23,929	20,452	年齢・国籍に関係なく、学び直しを希望する社会人等に学習機会を提供するため、定時制高等学校4校できのくに学びの教室を開設した。

・受講者数 144人

生涯学習課

I 教育連絡調整費

1	奨学のための給付金（公立分）事業	292,391	261,159	授業料以外の教育費負担を軽減するため、高校生等を有する低所得世帯に対して「奨学のための給付金」を支給した（2,178件）。
2	和歌山県大学生等進学支援金事業	98,045	88,897	意欲と能力が高い者が、経済的な事情に左右されず、大学等に進学して学び、将来の地域社会の担い手となるよう、低所得世帯の令和6年度入学予定者に対して「和歌山県大学生等進学支援金」を新たに貸与した（39人）。

II 社会教育総務費

1	地域ふれあいルーム推進事業	13,656	11,310	放課後や週末等に学校の余裕教室等を活用し、地域住民との交流活動等の取組を実施する拠点として「地域ふれあいルーム」を開設し、大人とこどもの交流活動を推進した。 ・放課後等子ども教室 14市町79箇所（和歌山市を除く） ・いきいき交流教室（県立特別支援学校） 8校8箇所
2	きのくにコミュニティスクール推進事業	3,169	1,779	きのくにコミュニティスクール推進に係る研修会やフォーラムを開催するとともに、県内4箇所で開催を行い、コミュニティ・スクールに対する理解の促進と地域の実情に合わせた取組の充実を図った。また、和歌山県CSマイスターを派遣し、学校・家庭・地域が連携して子どもたちの育ちを支える体制づくりについての指導・助言を行った。
3	子どもの居場所づくり事業	27,892	23,430	放課後等に一人で過ごさなければならない小学校4年生から6年生等に対し、学習支援や大人とのふれあいの機会を定期的・継続的に提供し、学習習慣の定着やコミュニケーション力の向上等を支援する取組を実施した。 ・23市町67箇所（和歌山市を除く）
4	訪問型家庭教育支援事業	17,330	12,594	専門講座や特別講演会等を通して家庭教育の重要性について啓発を行い、家庭教育支援の関係者の資質向上と人材育成を行った。また、家庭教育に関する基礎的な知識の普及、啓発を図るため、子育て中の保護者等がつながりを深める機会となる子育て講座を実施した。 ・10市町（和歌山市を除く）

III 視聴覚教育費

1	文化情報センター運営事業	17,438	16,539	県の生涯学習推進の拠点施設として県民の幅広い生涯学習活動の推進を図るため、県民カレッジや様々な事業の情報提供等を行うとともに、外部コーディネーターによる優れ
---	--------------	--------	--------	--

た音楽や文化を発信した。

IV 図書館費

1	蔵書充実事業	63,314	62,922	県の中核図書館として、広く県民の生涯学習ニーズに応えるため、課題解決やこどもの読書推進に必要な資料を充実させた。また、和歌山県に関する資料を収集した。 ・令和4年度末蔵書冊数 1,093,883冊 ・令和5年度末蔵書冊数 1,108,006冊
2	南葵音楽文庫事業	6,932	6,932	寄託された紀州徳川家ゆかりの南葵音楽文庫を保管・整備するとともに、同文庫を活用した啓発・普及活動を行った。

スポーツ課

I 体育振興費

1	ゴールデンキッズ発掘プロジェクト事業	13,766	13,350	各種体力測定により発掘した優れた素質を有する小学生に対し、発達段階に応じた様々な育成プログラムを実施した。また、中学校1年生から3年生までの修了生を対象にスポーツ相談会の開催や育成プログラムへの参加案内等のフォローアップ事業を実施した。
2	国民体育大会・近畿ブロック大会派遣事業	79,599	70,120	鹿児島県で開催された特別国民体育大会に本県選手団として監督・選手304人を派遣するとともに、北海道・山形県で開催された第78回国民スポーツ大会冬季大会には2競技に35人を派遣した。 〔特別国民体育大会和歌山県選手団の成績〕 ・男女総合成績 第32位（天皇杯：818点） ・女子総合成績 第32位（皇后杯：521点） また、兵庫県を中心に開催された近畿ブロック大会には31競技に766人を派遣し、16競技26種別37種目が本大会へ出場した。
3	和歌山県市町村対抗ジュニア駅伝競走大会開催事業	19,883	17,978	スポーツの振興及び県・各市町村の活性化に資するため、第23回和歌山県市町村対抗ジュニア駅伝競走大会を開催した。
4	広域スポーツセンター育成事業	1,087	880	地域のスポーツ活動の核となる総合型地域スポーツクラブの支援・普及を図るため、（公社）県体育協会等にきのくに広域スポーツセンター事業を委託、実施した。
5	三四六総合運動公園管理運営事業	65,099	65,099	田辺市が運営する三四六総合運動公園の管理運営費のうち、旧南紀スポーツセンターに係る経費について、田辺市に交付した。
6	スポーツキャンプ誘致の推進事業	5,743	5,687	国内ナショナルチームのキャンプを実施し、県民がトップレベルのスポーツに身近に触れられる機会を創出した。

7	トップアスリート育成事業	136,251	128,750	国民体育大会や国際大会等で活躍できる競技者の育成により、競技力の向上を図った。
8	コーチスキルアップ事業	11,147	9,381	トップコーチ招聘による各種研修会の実施や県内指導者の全国大会等競技会への派遣研修等により、指導者の資質の向上を図った。
9	スポーツ医・科学サポート事業	23,105	23,105	各専門機関と連携し、県内競技団体の指導者や競技者にスポーツ医・科学面からのサポートを実施した。
10	さあ スポーツだ！プロジェクト事業	10,252	9,957	生涯にわたってスポーツに親しむ気運を醸成するため、わかやまりレーマラソンやマスタースポーツ体験会を開催した。
11	ハイスクール強化校指定事業	24,500	21,824	本県高校生の競技力向上のために93運動部を指定し、実施する事業に対し支援した。
12	ジュニアハイスクール指定事業	9,290	8,440	本県中学生の競技力向上のために32運動部を指定し、実施する事業に対し支援した。
13	全国高等学校総合体育大会ヨット競技大会開催事業	21,270	21,270	令和5年度全国高等学校総合体育大会ヨット競技大会の開催に必要な経費に対して補助を行った。
14	部活動推進事業	41,601	36,908	中学校の運動部活動に部活動指導員を83人派遣し、部活動の活性化と顧問教員の負担軽減を図った。

II 体育施設費

1	県立体育館・武道館維持運営管理事業	63,848	63,350	県立体育館及び県立武道館の管理を指定管理者である（公財）和歌山県スポーツ振興財団に行わせた。
2	和歌山ビッグ愛・ビッグホエル・ビッグウエーブ維持運営管理事業	570,178	347,858 翌年度繰越額 183,317	和歌山ビッグ愛、和歌山ビッグホエル及び和歌山ビッグウエーブの管理を指定管理者である（公財）和歌山県スポーツ振興財団に行わせた。 ・年間利用者数 371,897人

文化遺産課

I 文化振興費

1	文化振興事業	2,102	1,217	芸術鑑賞の機会が少ない地域の小・中学生を対象に、優れた芸術に直接触れる機会を提供するため、青少年劇場小公演を開催した。また、利用者の利便性向上を図るため、県立博物館施設4館において、入館料等のキャッシュレス決済に対応した。 ・青少年劇場小公演回数 6回
---	--------	-------	-------	---

Ⅱ 文化財保護費

1	文化財保護育成補助事業	54,298	45,332 〔翌年度繰越額〕 8,662	国・県指定文化財及び埋蔵文化財の保存と活用を図るため、所有者等が実施する文化財保存事業に対して補助した。 ・建造物、美術工芸品、記念物等の保存修理等に係る補助金 40件 (国指定文化財：30件、県指定文化財：10件) ・発掘調査に係る補助金 6件
2	世界遺産管理事業	17,141	12,649	自然災害や経年劣化により損傷した参詣道等の復旧及び周辺整備並びに参詣道の維持管理等の事業26件に対して補助した。
3	岩橋千塚古墳群追加指定事業	137,721	127,302	平成29年度及び30年度に作成した航空レーザー測量図を基に、追加指定候補地にある古墳の分布調査を実施するとともに、発掘調査報告書を刊行した。また、令和3年度からの4箇年計画で実施している土地の境界確定事業のうち、3年目の事業を完了した。
4	未来につなげる文化財次世代継承事業	14,462	10,410	災害や盗難への備えとして、文化財建造物、仏像等のデータベース化を推進するとともに、所有者が実施する登録有形文化財保存修理事業に対して7件の補助を行った。また、近代文化遺産について、分野別の調査・分析を実施するとともに、これまでの調査成果をまとめた2冊目の報告書を刊行した。
5	「岩橋千塚古墳群」魅力発信事業	11,015	10,803	特別史跡に指定されている3古墳群に関するシンポジウム「特別史跡の古墳群を語る－岩橋千塚・埼玉・西都原の価値と魅力－」を大阪市で開催するとともに、シンポジウム参加者を対象とするバスツアー「体験！リアル岩橋千塚」を実施し、岩橋千塚古墳群の知名度向上を図った。 ・シンポジウム来場参加者 387人 ・シンポジウム配信参加者 224人 ・バスツアー参加者 40人
6	特別史跡岩橋千塚古墳群等保存整備・活用事業	62,798	34,295 〔翌年度繰越額〕 26,658	天王塚古墳の墳丘整備工事として墳丘周囲の仮設道路の建設等を施工した。また、大日山35号墳の雨水対策を目的とする排水路の設置や堅穴系埋葬施設の覆屋等の設計など、特別史跡岩橋千塚古墳群の保存と活用を図る上で必要な整備を推進した。
7	和歌山博物館施設デジタル化計画事業	4,910	4,567	紀伊風土記の丘のデータベースに収蔵品及び古墳を追加するとともに、県立近代美術館及び博物館と共同で、県立博物館施設3館が収蔵する資料の横断検索ができるポータルサイトを改良・公開した。
(前年度繰越分)				
1	文化財保護育成補助事業	3,590	3,173	国指定文化財の保存と活用を図るため、所有者等が実施する文化財保存事業に対して補助した。

				・史跡の買上げに係る補助金 1 件
Ⅲ	博物館費			
1	展覧会開催事業	8,125	8,036	県立博物館において、特別展を2回、企画展を4回開催した。また、県民の生涯学習等の充実に資するため、本県の原始から近現代に至るまでの歴史と文化を紹介する常設展を開催した。 ・年間入館者数 29,007人
2	和歌山博物館施設デジタル化計画事業	3,011	3,010	県立博物館のデータベースに収蔵品の高精細画像を追加するとともに、県立近代美術館及び紀伊風土記の丘と共同で、県立博物館施設3館が収蔵する資料の横断検索ができるポータルサイトを改良・公開した。
Ⅳ	紀伊風土記の丘管理費			
1	展示・調査事業	4,291	4,052	紀伊風土記の丘において、調査研究の成果をもとに企画展を3回開催した。また、常設展を開催した。 ・年間入館者数 9,209人
2	ふるさと紀の国ふれあい体験事業	2,129	2,033	郷土の歴史や文化に対する関心を高めるため、小学生から大人までを対象に各種催し物を開催した。 ・参加者数 延べ3,571人
3	紀伊風土記の丘新館建設事業	355,519	321,458	新館等用地造成、新館建設、既存館の改修及び展示・収蔵設備制作・設置に関する実施設計を行うとともに、事業予定地から出土した鉄製品の保存処理等を実施した。また、特別会計から先行取得用地の買戻しを行った。
4	大規模特別展「律令国家成立前夜」（仮称）事業	8,904	7,043	紀伊風土記の丘において、大規模特別展「律令国家成立前夜」を開催した。 ・入館者数 3,280人
Ⅴ	社会教育施設災害復旧費			
1	災害復旧事業	14,489	14,488	令和5年台風第2号による大雨で被災した天王塚古墳仮設道路等の復旧工事を行った。
	県立学校教育課			
Ⅰ	教育連絡調整費			
1	特別支援学校看護師派遣事業	85,854	81,311	医療的ケアを必要とする幼児児童生徒が在籍する特別支援学校9校に看護師を派遣し、医療行為等専門的な対応を行った。対象幼児児童生徒の在籍が多い学校に看護師の複数配置を行った。

2	国際人育成プロジェクト事業	150,658	149,556	実践的な英語力向上に向けた授業改善を目的とした高等学校の英語科教員対象の研修や、高校生英語ディベート大会及びわかやま高校生クイズ in English等を開催した。
3	きのくに科学オリンピック事業	696	390	高校生を対象（参加：7校・14チーム）に科学や理数系分野への学習意欲の向上を図り、科学技術の発展を担う人材を育成することを目的としたきのくに科学オリンピックを開催し、「科学の甲子園」全国大会への出場校を決定した。
4	就職支援プロジェクト事業	39,550	37,871	民間企業経験者14人を就職希望者の多い県立学校17校2分校に就職指導員として配置し、求人開拓、就職した卒業生の訪問、生徒への相談活動や社会人基礎力を身につけるための指導等を行った。
5	学習指導支援員派遣事業	1,610	1,147	若手教員等への学習指導等に関するスキルの継承を図るため、学習指導支援員を県立学校15校に派遣した（延べ74人）。
6	きのくにコミュニティスクール推進事業	3,410	2,372	全ての県立学校に学校運営協議会を設置し、地域住民や保護者等を委員に任命した。また、各協議会において、年間3回程度の会議を開催し、学校運営の基本方針の承認や課題解決のための具体的な手立てについての協議を行った。
7	わかやま農業教育一貫プロジェクト事業	1,415	1,246	農業系高校の学習成果を発表する場として、わかやま農業高校マルシェを開催した。また、学習内容や農業を支える人材育成について協議するわかやま農業教育推進協議会を開催した。
8	宇宙教育推進事業	2,791	2,203	児童生徒の宇宙をはじめとする科学への興味・関心を高めるため、シンポジウム及び関連イベントへの参加を促進したほか和歌山県宇宙教育検討会議を年間3回開催し、宇宙を題材に学習する高等学校のカリキュラム開発を行った。また「カイロスロケット初号機打上げ見学会」への参加支援のため児童生徒・保護者移動のバスを配車した。
II 文化振興費				
1	高等学校文化部活動支援事業	1,492	1,400	県高等学校総合文化祭の開催費を補助することにより、生徒の相互交流と芸術文化活動の活性化、文化部活動の発表の場の確保等、高等学校文化部活動を支援した。
義務教育課				
I 教育連絡調整費				
1	国際人育成プロジェクト事業	33,639	30,192	教員の英語指導力向上を図るため、小学校の教員及び中学校の英語科教員等を対象とした研修を実施した。また、英語への興味・関心の喚起と英語力の向上を図るため、公立中学3年生を対象に英語検定を学習指導に活用した。
2	きのくに科学オリンピック	511	511	科学に関心のある中学生が切磋琢磨する場を設け、科学や理数系分野への学習意欲の一

	ク事業			層の向上を図った。
3	学校図書館の充実事業	1,888	482	学校図書館の整備充実と活用促進を図るとともに、県内の公立小・中・義務教育学校の学校図書館担当教員等を対象に研修会を実施した。
4	幼児教育関係職員研修事業	987	757	公私立の幼稚園・保育所・認定こども園の職員を対象に、その資質向上を図るため職種や経験年数に応じた研修や、保育者に必要なテーマを設けた研修会を実施した。
5	ふるさと教育の充実事業	6,855	6,855	児童生徒のふるさと和歌山に対する興味・関心を深め、ふるさとを愛する心を育むため、「わかやま何でも帳」等を活用したふるさと教育を推進した。
6	幼児教育総合プロジェクト事業	7,631	7,347	幼児教育アドバイザーを2人配置し、幼稚園・保育所・認定こども園を訪問して保育実践に対する助言を行い、幼児教育の質の向上を図った。また、幼児教育と小学校教育の連携及び円滑な接続を推進するため、幼児教育関係者と小学校教育関係者が集う研修会を地域別に3会場で開催した。
7	これからの和歌山の教育をつくる教職員の育成事業	2,306	1,507	教員の指導力向上のため、各教科等研究団体が実施する研究会での講演等における講師招聘の支援を30件行った。
8	きのくに学力向上総合戦略事業	52,765	49,560	10月に小学校4・5年生を対象に国語、算数及び理科（理科は、小学校5年生のみ）、4月に中学校1・2年生、12月に中学校全学年を対象に国語、数学及び英語の学習到達度調査を実施し、学習到達状況や改善状況を把握するとともに、「結果分析と指導のポイント」や「復習教材」等を各学校に提供した。また、指導力向上に係る研修や学力向上推進に係る小・中学校長研修会等、教職員を対象とした研修を開催した。
9	きのくに学力定着フォローアップ事業	11,765	11,463	優れた教育実践力を持つ退職教員等をアドバイザー（40人）として、課題の大きい学校（50校：小学校28校・中学校22校）に派遣し、授業改善など学力向上の取組を支援した。
10	部活動推進事業	3,775	2,412	中学校の文化部活動に部活動指導員を17人派遣し、部活動の活性化と顧問教員の負担軽減を図った。
11	読書を楽しむ習慣づくり事業	1,085	1,060	読書を楽しむ習慣づくりを支援するため、積極的に読書に取り組んでいる小学校及び小・中・義務教育・高等学校の児童生徒各学年1人ずつを表彰した。
12	宇宙教育推進事業	2,259	1,151	児童生徒の宇宙及び最先端の科学技術に関する知識を深め、宇宙をはじめ科学への興味・関心を高めるため、「超小型模擬人工衛星（缶サット）体験会」及び「カイロスロケット初号機打上げ見学会」の募集・運営を行った。

教育センター学びの丘

I 教育センター費

1 基本研修事業

13,004

12,165

小・中・高・特別支援学校の新規採用及び中堅教員並びに幼稚園等の新規採用教員を対象とした研修を実施した。

〔初任者研修対象者〕

校 種	拠点校方式		単独校方式		備 考
	学校数	人数	学校数	人数	
小学校	85	103	5	5	
中学校	46	56	7	8	
高等学校	0	0	23	37	
特別支援学校	7	28	5	8	内3校両方式重複
計	138	187	40	58	

〔中堅教諭等資質向上研修対象者〕

区 分	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	計
中堅教員	89人	63人	58人	28人	238人

〔幼稚園等教員研修対象者〕

区分	公立幼稚園	私立幼稚園	認定こども園
新規採用教員	2人	21人	37人

2 専門研修事業

3,294

2,419

教職員としての資質・能力の向上を図るため、校種、職種、教科、職務等に応じた研修を行った。また、長期研修として、教員が教育センター学びの丘で1年間、研究に取り組んだ。さらに、社会体験研修として、教員を社会教育施設、社会福祉施設等に1年間派遣し、資質・能力の向上を図った。

〔研修講座実施状況〕

受 講 者	講 座 数	57講座
	小学校	926人
	中学校	555人
	高等学校	337人
	特別支援学校	180人
	計	1,998人

〔主な講座内容〕

- ・教育経営研修
- ・主任等研修
- ・特別支援学級担当教員研修
- ・学校事務職員研修
- ・各教科等研修
- ・特別支援教育研修
- ・教育相談研修
- ・教職等専門研修
- ・養護教諭、栄養教諭研修

3 研究推進・調査研究事業

1,335

1,151

研究推進事業として、県内の公立学校17校と6関係機関等に対し、授業力や学校力向上に係る研究支援を延べ32回行った。また、校内研修や個人研修等の充実に資するための動画研修パッケージを8本作成した。さらに、学び続ける教職員を支援するための事業として、県内の公立学校4校に対し、授業づくりや校内研修に係る相談や協議等、所員によるコンサルテーションを延べ5回行った。

教育支援課

I 教育連絡調整費

1	不登校等総合対策事業	409,676	373,356 〔翌年度繰越額〕 11,170
---	------------	---------	-------------------------------

不登校・いじめ等問題を抱えている児童生徒の心のケアを図り、教員の資質向上及び各学校の教育相談体制を充実させるため、小学校159校、中学校111校、義務教育学校1校、県立高等学校45校及び特別支援学校10校にスクールカウンセラー等を配置し、小中学校の未配置校には、近隣の拠点校からスクールカウンセラーを派遣して対応した。また、スクールソーシャルワーカー等を29市町村（和歌山市は独自で配置）と県立高等学校17校に配置した。

2	教育相談推進事業	2,327	2,222
---	----------	-------	-------

児童生徒の心理的な諸問題や、特別な支援を必要とするこどもの教育に関して、教職員等の相談に応じ、問題解決のために専門的立場から支援した。

〔年間教育相談実施状況〕

校 種	小学校	中学校	県立学校	その他	計
相談件数	77件	47件	10件	2件	136件

3	学びのセーフティネット事業	73,036	64,481
---	---------------	--------	--------

不登校児童生徒等の学校復帰と学力保障のため、教育支援センターを設置する18市町に訪問支援員を配置した。

II 保健体育総務費

1	保健・給食管理運営事業	6,143	5,570
---	-------------	-------	-------

学校給食での県産品・ジビエの利用拡大を図るため、リーフレットを作成した。また、学校給食における安全安心の確保のため、学校給食用食品衛生検査を実施した。

2	教職員児童生徒健康管理・健康指導事業	70,912	67,549
---	--------------------	--------	--------

児童生徒等及び教職員の健康の保持増進を図るため、学校保健安全法等に基づく健康診断を実施した。また、健康教育の推進及び健康課題の解決に向けた研修会や協議会を開催した。

3	学校安全管理指導事業	121,611	81,827
---	------------	---------	--------

児童生徒の事故等に対応するための保険に加入するとともに、災害に対して給付金を支給した。

4	わかやま学校・地域防災力アップ事業	3,992	2,862
---	-------------------	-------	-------

学校と地域の防災力アップのため、災害時に児童生徒を守る防災リーダー（管理職等）と地域の支援活動等の担い手となる高校生・教職員を育成した。

5	総合的な依存症予防教育事業	2,136	2,116
---	---------------	-------	-------

ゲームやスマートフォンに関するルール作りを推進するために、依存症予防に関する教材を学校等に配布した。また、依存症予防教育に係る研修会を2回開催した。

(前年度繰越分)

1	保健・給食管理運営事業	124,200	66,302	県立学校の感染症防止対策のため、換気対策用品等を購入した。
---	-------------	---------	--------	-------------------------------